

1. 必要なものを確認する

付属品

- ACアダプター 1
- クッションシート 1
- ビス(4本)*1 1
- ご注意と保守について
- 接続ガイド(本書)
- 保証書
- CD (VoIP設定ツール、RS-SIP1 取扱説明書収録)

★1 弊社別売品のMB-99A(壁面取付プレート)で使用するビスです。取り付け方法など、詳しくはMB-99Aの取扱説明書をご覧ください。

ご用意いただくもの

- 設定用パソコン
- LANケーブル
- アース線
- HUB*2

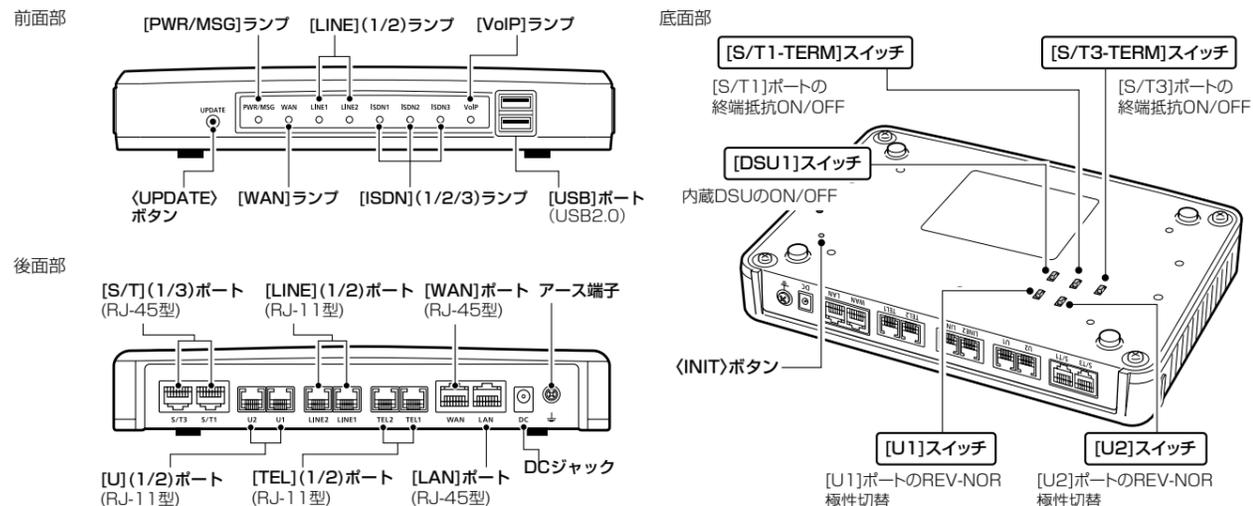
★2 本製品は、MDI(ストレート)/MDI-X(クロス)の自動判別機能に対応していますので、HUBをお持ちでない場合でも、LANケーブルで本製品とパソコンを直接接続できます。

接続ガイド(本書)では、本製品の基本的な使いかたを説明しています。本製品をご使用になるために必要な電話回線やPBXなどの設定については、弊社ホームページに掲載の設定マニュアル(PDFファイル)をご覧ください。

アイコム株式会社 取扱説明書 ダウンロード
<http://www.icom.co.jp/support/download/manual/>

2. 各部の名称/ランプの状態と動作

各部の名称



ランプの状態と動作 (初期化操作時のランプについては、別紙の「ご注意と保守について」をご覧ください。)

ランプ	PWR/MSG	WAN	LINE (1/2)	ISDN (1/2/3)	VoIP
点灯	電源ON時	WAN接続完了時 (IPアドレス取得成功時)	通話可	通話可	レジスト成功時 (全エントリー)
点滅	ファームウェア更新あり/ 起動時(ファームウェアロード中)	—	—	—	—
点滅	起動時(ファームウェアチェック中)/ USBメモリーにアクセス中*1	—	通話中(発着信含む)	通話中(発着信含む) ※B1、B2区別なし	通話中 (1CH以上/発着信を含む)
点滅	—	認証エラー(PPPoE)/ IPアドレス取得失敗時 (DHCP)*2	エコーキャンセラー最適化 失敗時	—	レジスト失敗時 (1エントリー以上)
点滅	起動時(起動中)/ USBメモリーにアクセス中*1	—	—	—	—
消灯	電源OFF時	未接続時/ 接続完了するまで	アナログ電話回線未接続/ 起動から通話可になるまで	ISDN回線未接続/ 起動から通話可になるまで	レジスト登録設定なし/ レジスト試行中

★1 USBメモリーにアクセス中は、[PWR/MSG]ランプが橙色と緑色で交互に点滅します。
 ★2 PPPoE、DHCP設定時、IPアドレスを取得できない状態が30秒つづいたとき、[WAN]ランプが赤色で点滅します。

3. ISDN回線の接続について

接続するポートについて

[U1]/[U2]ポート
 ISDN回線と接続します。

[S/T1]ポート*
 本製品に内蔵のDSUを使用しない場合、市販のDSUやDSU内蔵のISDN機器を接続します。本製品に内蔵のDSUを使用する場合、ほかのISDN機器を接続します。

[S/T3]ポート*
 市販のDSUやDSU内蔵のISDN機器を接続します。

★ISDN専用ケーブル、または全ピンストレート結線されたLANケーブル(市販品)をご使用ください。

スイッチの切り替えについて

[DSU1]スイッチ (出荷時の設定：ON(内蔵のDSUを使用する))
 市販のDSU、またはDSU内蔵のISDN機器を[S/T1]ポートに接続するときは、「OFF」に設定します。
 ※本製品に内蔵のDSUは、[U1]ポートから切りはなされます。

[S/T1-TERM]スイッチ (出荷時の設定：ON(終端抵抗あり))
 [S/T1]ポートの終端抵抗を設定するとき使用します。
 ※ISDN回線を[U1]ポートに接続して、さらにほかのISDN機器を[S/T1]ポートに接続するときは、このスイッチ(terminator)を「OFF(終端抵抗なし)」に設定します。
 ※ISDN回線を[U1]ポートに接続して、単独でISDN回線に接続する([S/T1]ポート未使用)ときは、このスイッチ(terminator)を「ON(終端抵抗あり)」に設定します。

[S/T3-TERM]スイッチ (出荷時の設定：ON(終端抵抗あり))
 [S/T3]ポートの終端抵抗を設定するとき使用します。
 ※複数の接続先があるISDN機器を[S/T3]ポートに接続する場合に本製品が終端にならないときは、このスイッチ(terminator)を「OFF(終端抵抗なし)」に設定します。

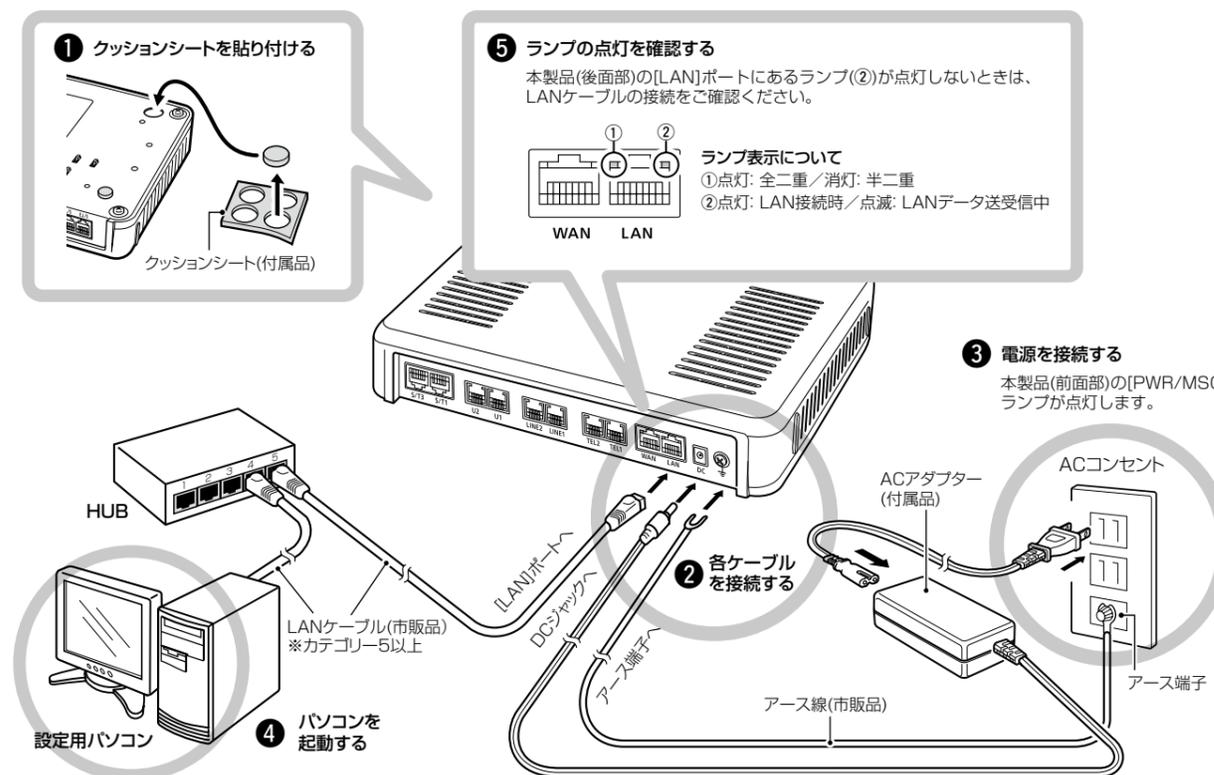
[U1]スイッチ (出荷時の設定：NOR)
 [U1]ポートの極性を反転させるとき使用します。
 ※ISDN回線を[U1]ポートに接続したときに、[ISDN1]ランプが点灯しない場合は、このスイッチを「REV(反転)」に切り替えてください。

[U2]スイッチ (出荷時の設定：NOR)
 [U2]ポートの極性を反転させるとき使用します。
 ※ISDN回線を[U2]ポートに接続したときに、[ISDN2]ランプが点灯しない場合は、このスイッチを「REV(反転)」に切り替えてください。

4. 接続して電源を入れる

次の手順(①~⑤)で、各機器を本製品に接続します。

※出荷時の状態で接続するときは、本製品に接続するHUBと既存のネットワークを切りはなしてください。
 ※100BASE-TXより低速なHUBは、意図しない動作で通信に障害を与えるなど、通信速度低下の原因になりますので、できるだけ接続しないでください。
 ※HUBをお持ちでない場合でも、LANケーブルで本製品とパソコンを直接接続できます。



△警告
 本製品のアース端子は、市販のアース線を使用して、コンセントのアース端子、または地中に埋めたアース棒(市販品)に必ず接続してください。
 ※落雷したときの電氣的ショックの緩和、感電やノイズの回り込みを防止できません。
 ※絶対に、ガス管や水道管には接続しないでください。

設定用パソコンのIPアドレス
 出荷時、本製品のLAN側IPアドレスは「192.168.0.1」、DHCPサーバー機能は「有効」に設定されていますので、あらかじめ接続するパソコンにはIPアドレスを自動取得できるように設定してください。
 ※IPアドレスの設定について、詳しくはパソコンの取扱説明書をご覧ください。

5. 設定画面について

本製品には、管理者用とユーザー用の設定画面があります。
※本製品をご使用になるには、管理者用の設定画面で電話回線やPBXなどの設定が必要です。
詳しくは、弊社ホームページに掲載の設定マニュアル(PDFファイル)をご覧ください。

管理者用の設定画面について

管理者用の設定画面で電話回線やPBXなどの設定が完了すると、ご使用になる端末を内線電話として利用できます。

- ルーター機能設定(ネットワーク関連)
- 電話回線設定(外線関連)
- Peer to Peer設定
- 簡単設定(内線関連)
- PBX設定(内線関連)
- PBX拡張設定(内線関連)
- 管理(保守関連)

ユーザー用の設定画面について

本製品の「ユーザー設定」画面*1を利用して、下記の項目を設定できます。

- 主装置の時刻を修正
- 非通知着信拒否設定
- 迷惑電話お断り設定
- 外線着信転送設定
- 留守番電話設定
- 昼夜切替設定
- 電話帳の編集
- 保留音設定
- 着信おませ設定
- パスワード変更*2
- 着信設定(端末ごとの転送設定)*2

★1 パソコンから、本製品の「ユーザー設定」画面にアクセスするときは、「http://本製品のLAN側IPアドレス/」をWWWブラウザのアドレスバーに入力して、[Enter]キーを押します。
入力例) http://192.168.0.1/

★2 端末ごとの着信設定やパスワード変更(初期設定：内線番号)をするときは、端末に設定された内線番号(ユーザーID)とパスワードを入力して、(ログイン)をクリックします。

※「ユーザー設定」画面について詳しくは、弊社ホームページに掲載のユーザー設定画面マニュアル(PDFファイル)をご覧ください。

不正アクセス防止のアドバイス

本製品に設定するすべてのパスワードは、容易に推測されないものにして下さい。数字だけでなくアルファベット(大文字/小文字)や記号などを組み合わせた長く複雑なものにし、さらに定期的にパスワードを変更されることをおすすめします。
※管理者用のパスワード変更については、弊社ホームページに掲載の設定マニュアル(PDFファイル)をご覧ください。

管理者用の設定画面にアクセスするには

本製品に接続したパソコンのWWWブラウザから、管理者用の設定画面にアクセスする手順を説明します。

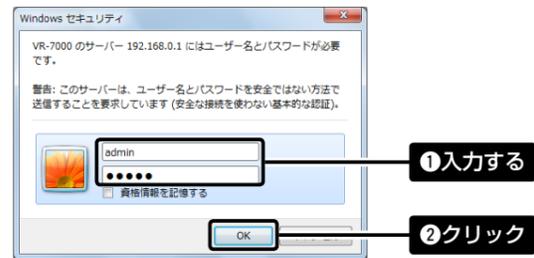
1 WWWブラウザを起動し、WWWブラウザのアドレスバーに「http://本製品のLAN側IPアドレス/admin/」を入力します。



※上図は、出荷時のLAN側IPアドレス(192.168.0.1)を入力した場合です。

2 [Enter]キーを押します。
[ユーザー名]と[パスワード]を求める画面が表示されます。

3 [ユーザー名]欄に「admin」、[パスワード]欄に「admin」(出荷時の設定)を入力し、(OK)をクリックすると、管理者用の設定画面が表示されます。



WWWブラウザについて

Microsoft Internet Explorer 8で動作確認しています。
設定画面が正しく表示できるように、WWWブラウザのJavaScript機能、およびCookieは有効にしてください。
※Microsoft Internet Explorer 7以前をご使用の場合は、正しく表示できないことがあります。

7. CD(UTILITY DISC)について

収録内容について

付属のCDには、画面にしたがって操作するだけで、本製品の電話設定を構築できるVoIP設定ツールなどを収録しています。

- ◎RS-SIP1 (VoIP設定ツール)*1*2
- ◎RS-SIP1 取扱説明書(PDFファイル)
- ◎Adobe® Reader® (インストーラー)

- ★1 ご使用になる前に、付属のCDに収録されているRS-SIP1取扱説明書をよくお読みいただき、動作環境や注意事項などを確認してから、設定をはじめてください。
- ★2 対象となるIP電話機は、弊社製VP-701だけです。
パナソニック社製IP電話機(KX-UT123N、KX-UT136N)をご使用になる場合は、管理者用の設定画面で設定してください。
※詳しくは、弊社ホームページに掲載の設定マニュアル(PDFファイル)をご覧ください。

取扱説明書(PDFファイル)をご覧いただくには

付属のCDに収録されている取扱説明書、弊社ホームページに掲載の設定マニュアルやユーザー設定画面マニュアルをご覧いただくには、Adobe® Reader®が必要です。
お持ちでない場合は、付属のCDからインストールしていただくか、Adobe®ホームページからソフトウェアをダウンロードしてください。

使用方法について

- 1 パソコンのCDドライブに挿入して、CDに収録されている「Autorun.exe」をダブルクリックします。
※ご使用のパソコンで、拡張子が表示されないときは、フォルダーオプションから拡張子の表示設定を変更してください。
- 2 メニュー画面が表示されたら、目的のボタンをクリックします。



8. 定格

一般仕様

- 電 源：DC12V±10% [DCプラグ極性：⊖ ⊕ ⊕]
- ※ACアダプター(付属品)は、AC100V±10% 最大16W (付属のACアダプター使用時)
- 使用環境：温度0～40℃、湿度5～95% (結露状態を除く)
- 外形寸法：約232(W)×38(H)×168(D)mm (突起物を除く)
- 重量：約0.8kg (付属品を除く)
- 適合規格：クラスA情報技術装置(VCCI)
- インターフェース：ランプ(PWR/MSG、WAN、LINE(1/2)、ISDN(1/2/3)、VoIP)、ボタン(UPDATE、INIT)、[USB]ポート(USB2.0)×2

有線部

- インターフェース：
 - [WAN]部 [WAN]ポート(RJ-45型)×1 (Auto MDI/MDI-X)
 - IEEE802.3/10BASE-T準拠
 - IEEE802.3u/100BASE-TX準拠
 - [LAN]部 [LAN]ポート(RJ-45型)×1 (Auto MDI/MDI-X)
 - IEEE802.3/10BASE-T準拠
 - IEEE802.3u/100BASE-TX準拠
 - [ISDN]部 3系統 (独立U点×1、独立S/T点×1、共用U点S/T点×1)
 - [U]ポート(RJ-11型)×2
 - [S/T]ポート(RJ-45型)×2
 - [S/T1-TERM]スイッチ(ON-OFF)×1
 - [S/T3-TERM]スイッチ(ON-OFF)×1
 - [U1]スイッチ(NOR-REV)×1
 - [U2]スイッチ(NOR-REV)×1
 - [DSU1]スイッチ(ON-OFF)×1
 - [アナログ]部 [LINE]ポート(RJ-11型)×2 [TEL]ポート(RJ-11型)×2
- 通信速度：[WAN]部 10/100Mbps (自動切り替え/全二重) [LAN]部 10/100Mbps (自動切り替え/全二重)
- 透過プロトコル：ルーティング時はIPv4のみ
- 制御プロトコル：SIP
- コーデック：G.711

6. USBメモリーによる自動設定機能

本製品の[USB]ポートに市販のUSBメモリーを接続して電源を入れると、設定ファイル(本製品の設定が保存されたファイル)やファームウェアファイルをUSBメモリーから本製品に自動で読み込んで、本製品の設定復元やバージョンアップなどができます。

※USBメモリーは、本製品に付属していません。
※使用方法については、弊社ホームページに掲載の設定マニュアル(PDFファイル)をご覧ください。



本製品のACアダプターを取りはずしてから、[USB]ポートの奥まで挿入する

[USB]ポートに接続する機器について

- ◎USBメモリー以外は接続しないでください。
- ◎指紋認証型、アプリケーション認証(パスワードを入力したらアクセスできる)型など、セキュリティー対応型のUSBメモリーは使用できません。

USBメモリー使用時のご注意

- ◎データ保護のため、必ず本製品のACアダプターを取りはずしてから、USBメモリーの接続や取りはずしをしてください。
- ◎USBメモリーは、どちらか一方の[USB]ポートにだけ接続してください。
※2つの[USB]ポートを同時には使用できません。
- ◎USBメモリーを差し込むときは、形状と差し込み方向に注意して、奥まで確実に差し込んでください。
- ◎設定復元、およびファームウェアのバージョンアップ(アクセス)が完了するまで、絶対にUSBメモリーを取りはずさないでください。ファイルの消失や故障の原因になります。
- ◎ファームウェアを更新された場合は、正しく更新できているかどうか、管理者用の設定画面でファームウェアバージョンを確認してください。
- ◎設定を復元する直前の設定値は、設定ファイル(bakdata.sav)として、本製品に接続したUSBメモリーにバックアップされます。

登録商標について

アイコム株式会社、アイコム、Icom Inc.、アイコムロゴ、WAVEMASTERは、アイコム株式会社の登録商標です。
Adobe、Adobe Readerは、Adobe Systems Incorporated (アドビシステムズ社)の登録商標です。
Microsoft、Windowsは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。
その他、本書に記載されている会社名、製品名およびサービス名は、各社の商標および登録商標です。

アイコム株式会社

547-0003 大阪市平野区加美南1-1-32

高品質がテーマです。

A-7019W-2J-② Printed in Japan © 2012-2013 Icom Inc.